【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年2月15日(2024.2.15)

【国際公開番号】WO2020/136491
【公表番号】特表2022-516712(P2022-516712A)
【公表日】令和4年3月2日(2022.3.2)
【年通号数】公開公報(特許)2022-037
【出願番号】特願2021-537808(P2021-537808)
【国際特許分類】
A61B 17/072(2006.01)
【FI】
A61B 17/072

【誤訳訂正書】
【提出日】令和6年2月6日(2024.2.6)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
組織をステープル留めするための外科用システムであって、
（ａ）バットレス・アプライヤ・カートリッジであって、
（ｉ）ハウジングであって、前記ハウジングに沿って長手方向に延びる第１の間隙と第２の間隙とを画定し、前記第１の間隙及び前記第２の間隙のそれぞれが、外科用ステープラのエンドエフェクタの第１の部分、及び前記エンドエフェクタの第２の部分を受け入れるように構成されている、ハウジングと、
（ｉｉ）前記ハウジングに接続され、前記第１の間隙と前記第２の間隙との間で横断方向に露出し、前記ハウジングにより支持されているプラットホームと、を含む、バットレス・アプライヤ・カートリッジと、
（ｂ）前記プラットホーム上に配置され、前記ハウジングの前記第１の間隙内で露出している第１のバットレス組立体であって、第１のバットレスが、
（ｉ）組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成されるステープルを支持するように構成されている第１のバットレスと、
（ｉｉ）前記ハウジングの前記第１の間隙内で露出し、前記エンドエフェクタの前記第１の部分又は前記第２の部分に対して前記第１のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、前記第１のバットレス上の第１の接着剤層であって、前記第１の接着剤層が前記第１のバットレスに平行であり、第１の接着剤外形を有する第１の接着剤パターンを画定する、第１の接着剤層と、を含む、第１のバットレス組立体と、
（ｃ）前記プラットホーム上に配置され、前記ハウジングの前記第２の間隙内で露出している第２のバットレス組立体であって、第２のバットレスが、
（ｉ）組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成される前記ステープルを支持するように構成されている第２のバットレスと、
（ｉｉ）前記ハウジングの前記第２の間隙内で露出し、前記エンドエフェクタの前記第１の部分又は前記第２の部分に対して前記第２のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、前記第２のバットレス上の第２の接着剤層であって、前記第２の接着剤層が前記第２のバットレスに平行であり、第２の接着剤外形を有する第２の接着剤パターンを画定する、第２の接着剤層と、を含む、第２のバットレス組立体と、を含み、

前記第１のバットレス組立体及び前記第２のバットレス組立体が、外科用器具の前記エンドエフェクタの前記第１の部分及び前記第２の部分に対して、入れ替え可能となるように、前記横断方向の、露出した前記第２の接着剤外形が、反対の横断方向の、露出した前記第１の接着剤外形と同一である、外科用システム。

【請求項２】

前記第２の接着剤層の前記第２の接着剤パターンが、前記プラットホームを通して、前記第１の接着剤層の前記第１の接着剤パターンの鏡像になっている、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項３】

前記第１のバットレス組立体が、前記第２のバットレス組立体から横断方向にオフセットしており、前記第２のバットレス組立体と横断方向において位置合わせされている、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項４】

前記第１の接着剤外形が、前記第２の接着剤外形から横断方向にオフセットしており、前記第２の接着剤外形と横断方向において位置合わせされている、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項５】

前記第１の接着剤層が第１の接着ビーズ層であり、前記第２の接着剤層が第２の接着ビーズ層である、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項６】

前記第１のバットレス組立体が、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直の短手方向に、第１の短手方向バットレス幅を有し、前記第２のバットレス組立体が、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直の前記短手方向に、第２の短手方向バットレス幅を有し、前記第１の短手方向バットレス幅及び前記第２の短手方向バットレス幅がそれぞれ同一である、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項７】

前記第１の短手方向バットレス幅及び前記第２の短手方向バットレス幅がそれぞれ１０．４１４ｍｍ（０．４１インチ）である、請求項６に記載の外科用システム。

【請求項８】

前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層がそれぞれ、前記エンドエフェクタのアンビル、及びエンドエフェクタのステープルカートリッジに付着するように構成されており、前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層がそれぞれ、前記アンビルに対する接着力が比較的小さくなるように、より小さな接着表面積で前記アンビルに付着するように構成され、前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層が、前記ステープルカートリッジに対する接着力が比較的大きくなるように、より大きな接着表面積で前記ステープルカートリッジに付着するように構成されている、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項９】

前記第１の接着剤外形及び前記第２の接着剤外形がそれぞれ、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直な短手方向において、その接着剤外形に付着した前記ステープルカートリッジのステープラカートリッジ外形内に短手方向にて収まるように構成されており、前記第１の接着剤外形及び前記第２の接着剤外形がそれぞれ、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直な前記短手方向において、その接着剤外形に付着した前記アンビルのアンビル外形を超えて短手方向に延びるように構成されている、請求項８に記載の外科用システム。

【請求項１０】

エンドエフェクタを有する外科用ステープラを更に含み、前記エンドエフェクタが、アンビルに対して移動可能に取り付けられたステープルカートリッジを含み、前記ステープルカートリッジが、前記第１のバットレス組立体又は前記第２のバットレス組立体のうちの一方に取り外し可能に付着し、前記アンビルが、前記第１のバットレス組立体又は前記第２のバットレス組立体のうちの他方に取り外し可能に付着し、前記第１の接着剤外形又

は前記第２の接着剤外形のうちの一方が、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの前記一方に付着した前記ステープルカートリッジの前記ステープラカートリッジ外形内に短手方向において収まり、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの他方が、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの前記他方に付着した前記アンビルの前記アンビル外形を超えて短手方向に延びている、請求項９に記載の外科用システム。

【請求項１１】

前記第１のバットレス又は前記第２のバットレスのうちの少なくとも一方が、前記第１のバットレス又は前記第２のバットレスのうちの前記少なくとも一方に沿って長手方向に延びるプレカットスリットを有し、前記プレカットスリットが、前記第１のバットレス組立体又は前記第２のバットレス組立体のうちの少なくとも一方を分離するためのナイフを受け入れるように構成されている、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項１２】

前記第１のバットレス又は前記第２のバットレスのうちの前記少なくとも一方が、遠位バットレス端部、近位バットレス端部、及び、前記遠位バットレス端部と前記近位バットレス端部との間に延びる中間バットレス部分を含み、前記プレカットスリットが、前記近位バットレス端部を通って、前記近位バットレス端部の近位端まで長手方向に延びる近位端スリット、前記遠位バットレス端部を通って、前記遠位バットレス端部の遠位端まで長手方向に延びる遠位端スリット、又は、前記中間バットレス部分を通って長手方向に延びる中間スリットのうちの少なくとも１つを含む、請求項１１に記載の外科用システム。

【請求項１３】

前記プレカットスリットが、前記近位端スリット、前記遠位端スリット、及び前記近位端スリットと前記遠位端スリットとの間の前記中間スリットのそれぞれを含み、前記中間スリットが、前記近位端スリット及び前記遠位端スリットのそれぞれから、長手方向に離間している、請求項１２に記載の外科用システム。

【請求項１４】

前記第１のバットレス又は前記第２のバットレスのうちの少なくとも一方が、一対の外側層の間に挟まれたコア層を有する、請求項１に記載の外科用システム。

【請求項１５】

前記コア層がポリグラクチン９１０材料であり、前記外側層がそれぞれ、ポリジオキサノンフィルム材料である、請求項１４に記載の外科用システム。

【請求項１６】

バットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体であって、

（ａ）プラットホーム上に配置され、ハウジングの間隙内にて露出されるように構成されたバットレス組立体であって、前記バットレス組立体が

（ｉ）近位バットレス端部から遠位バットレス端部まで長手方向に延び、前記近位バットレス端部と前記遠位バットレス端部との間に延びる中間バットレス部分を有する、バットレスであって、前記バットレスが、組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成されるステープルを支持するように構成されている、バットレスと、

（ｉｉ）前記バットレス上で、長手方向、及び、前記長手方向に垂直な短手方向に延びる接着剤層であって、前記接着剤層が、前記ハウジングの前記間隙内にて露出されるように構成され、外科用ステープラのエンドエフェクタに対して前記バットレスを剥離可能に付着するように更に構成されている、接着剤層と、

（ｉｉｉ）前記バットレスを通って長手方向に延び、ナイフが、近位バットレス端部を通り、前記中間バットレス部分を通って前記遠位バットレス端部まで切断する際に、前記ナイフを受け入れるように構成されている、プレカットスリットであって、前記プレカットスリットが、前記バットレスの第２の短手方向部分からの前記バットレスの第１の短手方向部分の分離を促進するように構成されている、プレカットスリットと、を含む、バットレス組立体を含む、バットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体。

【請求項１７】

前記プレカットスリットが、前記近位バットレス端部を通って、前記近位バットレス端部の近位端まで長手方向に延びる近位端スリットを含む、請求項１６に記載のバットレス・アプライヤ・カートリッジ。
【請求項１８】
前記プレカットスリットが、遠位端部を通って、前記遠位バットレス端部の遠位端まで長手方向に延びる遠位端スリットを含む、請求項１６に記載のバットレス・アプライヤ・カートリッジ。
【請求項１９】
前記プレカットスリットが、前記中間バットレス部分を通って長手方向に延びる中間スリットを含む、請求項１６に記載のバットレス・アプライヤ・カートリッジ。
【請求項２０】
バットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体であって、
（ａ）プラットホーム上に配置され、ハウジングの間隙内にて露出されるように構成されたバットレス組立体であって、前記バットレス組立体が
（ｉ）組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成されるステープルを支持するように構成されているバットレスであって、前記バットレスが
（Ａ）第１の外側フィルム層と、
（Ｂ）第２の外側フィルム層と、
（Ｃ）前記第１の外側層と前記第２の外側層との間に積層されたコアメッシュ層と、を含む、バットレスと、
（ｉｉ）前記ハウジングの前記間隙内にて露出されるように構成され、外科用ステープラのエンドエフェクタに対して前記バットレスを剥離可能に付着させるように更に構成された、前記第１の外側層上の接着剤層と、を含む、バットレス組立体を含み、
前記第１の外側フィルム層及び前記第２の外側フィルム層、前記コアメッシュ層、並びに、前記接着剤層のそれぞれが、組織により吸収されるように構成されている、バットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００８】
本明細書に組み込まれていると共にその一部をなす添付の図面は、本発明の実施形態を示すものであり、上記の本発明の一般的説明、及び以下の実施形態の詳細な説明と共に、本発明の原理を説明する役割を果たすものである。
【図１】一例としての上部ジョー用バットレス組立体、及び一例としての、別の、下部ジョー用バットレス組立体を担持する、バットレス・アプライヤ・カートリッジの例を含む、例示的なバットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体の斜視図である。
【図２】バットレス・アプライヤ・カートリッジから取り外したバットレス組立体を示す、図１のバットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体の部分的な分解斜視図である。
【図３】図１のバットレス組立体の斜視図である。
【図４】図３のバットレス組立体の分解斜視図である。
【図５】上部ジョーに対する、図１のバットレス組立体の底面図である。
【図６】予め形成されたスリットを示す、図１のバットレス組立体の遠位端部の拡大底面図である。
【図７】上部ジョーのための図１のバットレス組立体の平面図であり、バットレス組立体上の上部ジョーの外形を示す。
【図８】下部ジョーのための図１のバットレス組立体の平面図である。
【図９】下部ジョーのための図１のバットレス組立体の底面図であり、バットレス組立体上の下部ジョーの外形を示す。

【図１０Ａ】上部ジョー及び下部ジョーが開位置の状態でエンドエフェクタに接近する図１のバットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体を示す、例示的な外科用器具のエンドエフェクタの斜視図である。
【図１０Ｂ】図１０Ｂに類似するが、閉位置において上部ジョーと下部ジョーとの間に位置する図１のバットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体を示す、エンドエフェクタの斜視図である。
【図１０Ｃ】図１０Ｂに類似するが、開位置において上部ジョー及び下部ジョーにそれぞれ固定されたバットレス組立体を示す、エンドエフェクタの斜視図である。
【図１１Ａ】上部ジョー及び下部ジョーが開位置にある状態で、組織がバットレス組立体の間に配置され、図１のバットレス組立体がエンドエフェクタに適用された状態の図１０Ｂのエンドエフェクタの一部の、側面断面図である。
【図１１Ｂ】図１１Ａに類似するが、閉位置における上部ジョー及び下部ジョーを示す、エンドエフェクタ及びバットレス組立体の一部の側面断面図である。
【図１１Ｃ】図１１Ｂに類似するが、ステープルが組織内で形成された状態で組織に固定されたバットレス組立体を示す、バットレス組立体の側面断面図である。
【図１２Ａ】図１０Ｃの下部ジョーに固定された図１０Ｃのバットレス組立体、及び、当該バットレス組立体を通して遠位に駆動されるエンドエフェクタのナイフの斜視図である。
【図１２Ｂ】図１２Ａに類似するが、バットレス組立体を通して遠位に駆動されている間に、バットレス組立体の近位部分を切断するナイフを示す、バットレス組立体及び下部ジョーの斜視図である。
【図１２Ｃ】図１２Ｂに類似するが、バットレス組立体を通して遠位に駆動されている間に、バットレス組立体の中間部分を切断するナイフを示す、バットレス組立体及び下部ジョーの斜視図である。
【図１２Ｄ】図１２Ｃに類似するが、バットレス組立体を通して遠位に駆動されている間に、バットレス組立体の遠位部分を切断するナイフを示す、バットレス組立体及び下部ジョーの斜視図である。
【図１３】図１１Ｃに示すようにエンドエフェクタにより組織に固定され、図１２Ｄに示すように切断された、図１２Ｄのバットレス組立体及びステープルの斜視図を示す。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２９】
概して上で論じられるように、そして、図５～図９を参照すると、上部バットレス組立体（１２）及び下部バットレス組立体（１２）は、構造的に同一である。これに関して、図５は、下部横断方向からの、上部バットレス組立体（１２）の下面を示し、一方で、図８は、上部横断方向からの、下部バットレス組立体（１２）の上面を示す。本実施例の、これらの下面及び上面は、同一の短手方向幅及び長手方向長さを有する。同様に、図７は、上部横断方向からの、上部バットレス組立体（１２）の上面を示し、一方で、図９は、下部横断方向からの、下部バットレス組立体（１２）の下面を示す。本実施例における各事例において、これらの下面及び上面は、同一の短手方向幅及び長手方向長さを有する。更に、対応する各バットレス組立体（１２）の接着剤層（４２）は、所定の接着剤パターンで、接着ビーズ層（４２）として形成される。図７及び図９にそれぞれ示す、上部バットレス組立体（１２）及び下部バットレス組立体（１２）のそれぞれの接着剤パターンもまた同一であり、同一の短手方向幅及び長手方向長さを有する。接着剤パターンの短手方向幅及び長手方向長さは共に、ステープルカートリッジ（１２０）のアンビル（１１６）及びデッキ（１１８）の両方に対応する寸法となった、接着剤外形を画定する。すなわち、接着剤層（４２）の接着剤外形並びにバットレス（１４）は、アンビル（１１６）及び

デッキ（１１８）に対して、入れ替え可能であり、使用のために末端のバットレス組立体（１２）を装填する際に、バットレス・アプライヤ・カートリッジ組立体（１０）を、直立方向で使用でき、又は、中心長手軸を中心に逆さまの向きに反転させ得るようになっている。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３０】
このために、接着剤層（４２）の接着剤パターンと、デッキ（１１８）及びアンビル（１１６）の裏面（１２２）との界面を示すため、図７は、上部バットレス組立体（１２）に重なり合ったアンビル外形（１１７）を示し、図９は、下部バットレス組立体（１２）に重なり合ったデッキ外形（１１９）を示す。本実施例の接着剤パターンは、プラットホーム（３０）上で互いにオフセットして配置されたとき（図１を参照）に、上部接着剤層（４２）が、短手方向及び長手方向の位置合わせにおいて下部接着剤層（４２）の鏡像となるように、中心長手軸を中心に対称となっている。より具体的に言うと、本実施例の各接着剤層（４２）は、デッキ外形（１１９）の短手方向幅に概して等しいが、アンビル外形（１１７）の短手方向幅よりも大きい短手方向幅を有する。そのため、接着剤層（４２）は、デッキ（１１８）と接着剤層（４２）との間の接着力が大きくなるような、デッキ（１１８）に対する大きな接触表面積で、図９のデッキ外形（１１９）内に収まる。しかしながら、接着剤層（４２）は、図７のアンビル外形（１１７）よりも短手方向に広く、アンビル外形（１１７）を超えて短手方向に延びており、アンビルの裏面（１２２）との接触表面積はより小さく、アンビルの裏面（１２２）と接着剤層（４２）との間の接着力は小さくなる。より具体的に言うと、本実施例の各接着剤層（４２）は、約０．４１インチの短手方向幅を有する。これに対し、デッキ（１１８）は、アンビル（１１６）の裏面（１２２）よりも幅が広く、デッキ（１１８）は約０．４１インチの短手方向幅を有し、アンビル（１１６）の裏面（１２２）は、約０．３７インチの短手方向幅を有する。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４０】
組織をステープル留めするための外科用システムであって、（ａ）バットレス・アプライヤ・カートリッジであって、（ｉ）ハウジングであって、ハウジングに沿って長手方向に延びる第１の間隙と第２の間隙とを画定し、第１の間隙及び第２の間隙のそれぞれが、外科用ステープラのエンドエフェクタの第１の部分、及びエンドエフェクタの第２の部分を受け入れるように構成されている、ハウジングと、（ｉｉ）ハウジングに接続され、第１の間隙と第２の間隙との間で横断方向に露出し、ハウジングにより支持されているプラットホームと、を含む、バットレス・アプライヤ・カートリッジと、（ｂ）プラットホーム上に配置され、ハウジングの第１の間隙内で露出している第１のバットレス組立体であって、第１のバットレスが、（ｉ）組織に接して受け入れられ、組織内で形成されるステープルを支持するように構成されている第１のバットレスと、（ｉｉ）ハウジングの第１の間隙内で露出し、エンドエフェクタの第１の部分又は第２の部分に対して第１のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、第１のバットレス上の第１の接着剤層であって、第１の接着剤層が第１のバットレスに平行であり、第１の接着剤外形を有する第１の接着剤パターンを画定する、第１の接着剤層と、を含む、第１のバットレス組立体と、（ｃ）プラットホーム上に配置され、ハウジングの第２の間隙内で露出している第２のバットレス組立体であって、第２のバットレスが、（ｉ）組織に接して受け入れられ

、組織内で形成されるステープルを支持するように構成されている第２のバットレスと、（ｉｉ）ハウジングの第２の間隙内で露出し、エンドエフェクタの第１の部分又は第２の部分に対して第２のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、第２のバットレス上の第２の接着剤層であって、第２の接着剤層が第２のバットレスに平行であり、第２の接着剤外形を有する第２の接着剤パターンを画定する、第２の接着剤層と、を含む、第２のバットレス組立体と、を含み、第１のバットレス組立体及び第２のバットレス組立体が、外科用器具のエンドエフェクタの第１の部分及び第２の部分に対して、入れ替え可能となるように、横断方向の、露出した第２の接着剤外形が、反対の横断方向の、露出した第１の接着剤外形と同一である、外科用システム。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４３】
第１の接着剤外形が、第２の接着剤外形から横断方向にオフセットしており、第２の接着剤外形と横断方向において位置合わせされている、実施例１～３のいずれか１つ以上に記載の外科用システム。

【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４８】
第１の接着剤外形及び第２の接着剤外形がそれぞれ、長手方向及び横断方向に対して垂直な短手方向において、その接着剤外形に付着したステープルカートリッジのステープラカートリッジ外形内に短手方向にて収まるように構成されており、第１の接着剤外形及び第２の接着剤外形がそれぞれ、長手方向及び横断方向に対して垂直な短手方向において、その接着剤外形に付着したアンビルのアンビル外形を超えて短手方向に延びるように構成されている、実施例８に記載の外科用システム。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４９】
エンドエフェクタを有する外科用ステープラを更に含み、エンドエフェクタが、アンビルに対して移動可能に取り付けられたステープルカートリッジを含み、ステープルカートリッジが、第１のバットレス組立体又は第２のバットレス組立体のうちの一方に取り外し可能に付着し、アンビルが、第１のバットレス組立体又は第２のバットレス組立体のうちの他方に取り外し可能に付着し、第１の接着剤外形又は第２の接着剤外形のうちの一方が、第１の接着剤外形又は第２の接着剤外形のうちの一方に付着したステープルカートリッジのステープラカートリッジ外形内に短手方向において収まり、第１の接着剤外形又は第２の接着剤外形のうちの他方が、第１の接着剤外形又は第２の接着剤外形のうちの他方に付着したアンビルのアンビル外形を超えて短手方向に延びている、実施例９に記載の外科用システム。

【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６７
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【００６７】
〔実施の態様〕
（１）　組織をステープル留めするための外科用システムであって、
（ａ）バットレス・アプライヤ・カートリッジであって、
（ｉ）ハウジングであって、前記ハウジングに沿って長手方向に延びる第１の間隙と第２の間隙とを画定し、前記第１の間隙及び前記第２の間隙のそれぞれが、外科用ステープラのエンドエフェクタの第１の部分、及び前記エンドエフェクタの第２の部分を受け入れるように構成されている、ハウジングと、
（ｉｉ）前記ハウジングに接続され、前記第１の間隙と前記第２の間隙との間で横断方向に露出し、前記ハウジングにより支持されているプラットホームと、を含む、バットレス・アプライヤ・カートリッジと、
（ｂ）前記プラットホーム上に配置され、前記ハウジングの前記第１の間隙内で露出している第１のバットレス組立体であって、第１のバットレスが、
（ｉ）組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成されるステープルを支持するように構成されている第１のバットレスと、
（ｉｉ）前記ハウジングの前記第１の間隙内で露出し、前記エンドエフェクタの前記第１の部分又は前記第２の部分に対して前記第１のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、前記第１のバットレス上の第１の接着剤層であって、前記第１の接着剤層が前記第１のバットレスに平行であり、第１の接着剤外形を有する第１の接着剤パターンを画定する、第１の接着剤層と、を含む、第１のバットレス組立体と、
（ｃ）前記プラットホーム上に配置され、前記ハウジングの前記第２の間隙内で露出している第２のバットレス組立体であって、第２のバットレスが、
（ｉ）組織に接して受け入れられ、前記組織内で形成される前記ステープルを支持するように構成されている第２のバットレスと、
（ｉｉ）前記ハウジングの前記第２の間隙内で露出し、前記エンドエフェクタの前記第１の部分又は前記第２の部分に対して前記第２のバットレスを剥離可能に付着させるように構成されている、前記第２のバットレス上の第２の接着剤層であって、前記第２の接着剤層が前記第２のバットレスに平行であり、第２の接着剤外形を有する第２の接着剤パターンを画定する、第２の接着剤層と、を含む、第２のバットレス組立体と、を含み、
前記第１のバットレス組立体及び前記第２のバットレス組立体が、外科用器具の前記エンドエフェクタの前記第１の部分及び前記第２の部分に対して、入れ替え可能となるように、前記横断方向の、露出した前記第２の接着剤外形が、反対の横断方向の、露出した前記第１の接着剤外形と同一である、外科用システム。
（２）　前記第２の接着剤層の前記第２の接着剤パターンが、前記プラットホームを通して、前記第１の接着剤層の前記第１の接着剤パターンの鏡像になっている、実施態様１に記載の外科用システム。
（３）　前記第１のバットレス組立体が、前記第２のバットレス組立体から横断方向にオフセットしており、前記第２のバットレス組立体と横断方向において位置合わせされている、実施態様１に記載の外科用システム。
（４）　前記第１の接着剤外形が、前記第２の接着剤外形から横断方向にオフセットしており、前記第２の接着剤外形と横断方向において位置合わせされている、実施態様１に記載の外科用システム。
（５）　前記第１の接着剤層が第１の接着ビーズ層であり、前記第２の接着剤層が第２の接着ビーズ層である、実施態様１に記載の外科用システム。
【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００６８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【００６８】
（６）　前記第１のバットレス組立体が、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直の短手方向に、第１の短手方向バットレス幅を有し、前記第２のバットレス組立体が、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直の前記短手方向に、第２の短手方向バットレス幅を有し、前記第１の短手方向バットレス幅及び前記第２の短手方向バットレス幅がそれぞれ同一である、実施態様１に記載の外科用システム。
（７）　前記第１の短手方向バットレス幅及び前記第２の短手方向バットレス幅がそれぞれ１０．４１４ｍｍ（０．４１インチ）である、実施態様６に記載の外科用システム。
（８）　前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層がそれぞれ、前記エンドエフェクタのアンビル、及びエンドエフェクタのステープルカートリッジに付着するように構成されており、前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層がそれぞれ、前記アンビルに対する接着力が比較的小さくなるように、より小さな接着表面積で前記アンビルに付着するように構成され、前記第１の接着剤層及び前記第２の接着剤層が、前記ステープルカートリッジに対する接着力が比較的大きくなるように、より大きな接着表面積で前記ステープルカートリッジに付着するように構成されている、実施態様１に記載の外科用システム。
（９）　前記第１の接着剤外形及び前記第２の接着剤外形がそれぞれ、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直な短手方向において、その接着剤外形に付着した前記ステープルカートリッジのステープラカートリッジ外形内に短手方向にて収まるように構成されており、前記第１の接着剤外形及び前記第２の接着剤外形がそれぞれ、前記長手方向及び前記横断方向に対して垂直な前記短手方向において、その接着剤外形に付着した前記アンビルのアンビル外形を超えて短手方向に延びるように構成されている、実施態様８に記載の外科用システム。
（１０）　エンドエフェクタを有する外科用ステープラを更に含み、前記エンドエフェクタが、アンビルに対して移動可能に取り付けられたステープルカートリッジを含み、前記ステープルカートリッジが、前記第１のバットレス組立体又は前記第２のバットレス組立体のうちの一方に取り外し可能に付着し、前記アンビルが、前記第１のバットレス組立体又は前記第２のバットレス組立体のうちの他方に取り外し可能に付着し、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの一方が、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの前記一方に付着した前記ステープルカートリッジの前記ステープラカートリッジ外形内に短手方向において収まり、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの他方が、前記第１の接着剤外形又は前記第２の接着剤外形のうちの前記他方に付着した前記アンビルの前記アンビル外形を超えて短手方向に延びている、実施態様９に記載の外科用システム。